

新歓・岩(十二ヶ岳&三ツ峠)山行報告

【日時】 2017年9月30日(土)・10月1日(日)

【天気】 両日ともに晴れ・時々曇り

【メンバー】 CL 樋口 SL 富樫 井上志 井本 石崎 ☆飯田 ☆山本(記)

2日目～参加：萱野香 大森 (☆：新人)

【場所】 1日目：十二ヶ岳・南斜面 / 2日目：屏風岩&天狗岩

【1日目】

9月30日、5時30分に井上さん・山本が船橋駅集合し、富樫さんの車にピックアップしていただく。

樋口さんグループの車と談合坂SAで合流し、十二ヶ岳の岩場に向かった。

新人は飯田さん、私山本の二人。

十二ヶ岳駐車場から最初は歩きやすい林道だったが、途中からロープの張られた急登をひいひい言いながら登っていく。

20分程でお目当ての岩場に到着。

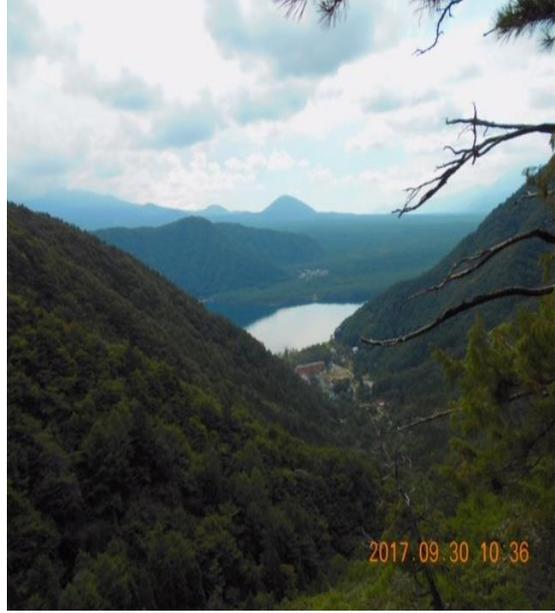
先行パーティーが1グループいた。

準備を整え、井本さん・富樫さん・樋口さんにトップロープをセットしていただく。なおトップロープには60mが必要。

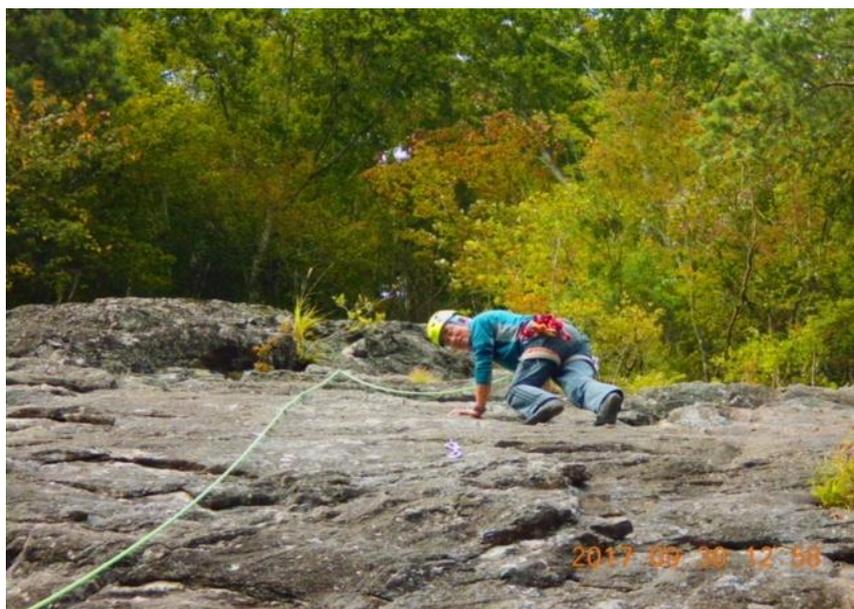
《中央左スラブ》

●1本目：疑惑の影=5.9

ハンガーが一部抜けており、支点間隔の広いスラブ・・・朝イチリードの井本さん、さすがです。終了点から振り返ると西湖がきれいに見えます!



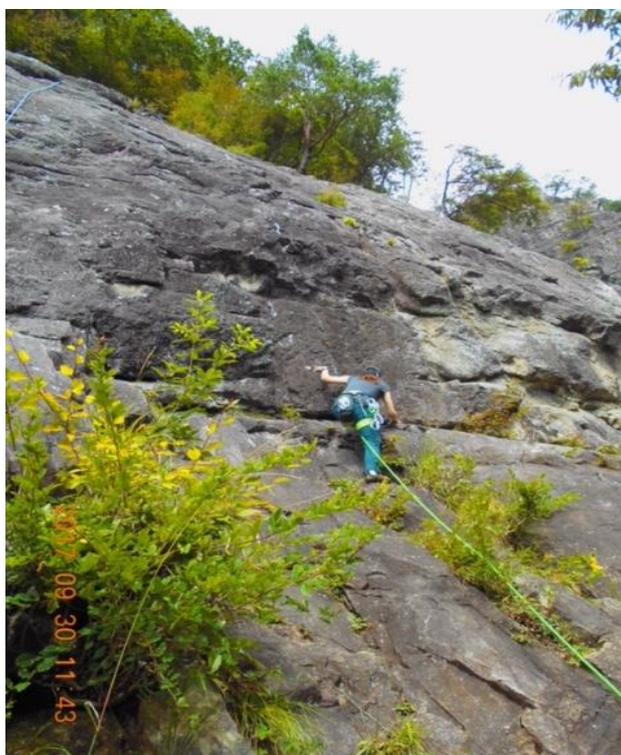
●2本目：泥棒成金＝5.9
疑惑の影と同様、フリクションがよく効いて快適なルート。



《中央スラブ》

●3本目：ジャネット・リー＝5.9

スラブ壁でもっとも良いルートとされている。5.9の中では辛め。リードの樋口さん、かっこいいです。



《ピナクル側》

●4本目：ファミリー・プロット＝5. 10a

岩が汚く、もろくて登りにくい・・・登った後に咳き込んだ。

飯田さん粘り強くうちこんでいました。

●5本目：知りすぎている男＝5. 10c

こちらも岩が汚く、カスだらけ・・・山本トップロープで悶絶しながら何とか上までぬけ、初めてのトップロープ架け替え&回収作業をさせてもらう。



岩はリードをしてこそ完登といえるが、フェース経験が乏しく、こわすぎてトップロープしかできなかった。

簡単なグレードでも、今年中にフェースのリードをたくさんやろう！

また目標ができた、そんな一日だった。



☆一日目、おつかれさまでした☆

時間いっぱい遊んで、いずみの湯で汗を流し、キャンプ場へ。
幹事の方々のおもてなしにたくさん甘えて、散々飲み食いさせていただきました。楽しい時間をありがとうございました☆
そういえば、お話したい方がたくさんいたのに、できない方がたくさんいました。酔っ払いすぎて反省・・・。

【二日目】

5時半起床。朝から幹事の方々が美味しいご飯を準備してくださり、朝からおなかいっぱい。たくさん準備してくださりありがとうございました！
みんなで宴会・朝ごはん、楽しすぎました。



☆みんなで記念撮影♪おいしいご飯をありがとうございました☆

なんだかんだゆっくり朝食をして、7時半、三ツ峠の岩場に向けて出発。
2日目から萱野さん、大森さんも参入！
三ツ峠では、経験者グループの屏風岩と、ロープワーク講習の天狗岩でふた手にわかれることになった。
その前に富士山をバックにみんなで記念撮影♪



その後、屏風岩・東面フェイスへ、樋口さん・井本さん・萱野さん・私山本の4人で向かった。

アップで草溝直上ルート(5.9)を登り、早々にとなりの地蔵ルート左から4Pほどつなげて頂上へ抜けることにした。ペアは樋口さんと萱野さん、私は井本さんと組ませていただくことになった。

12:00 スタート。出だしから核心・・・右寄りからスタートしルートを取ると登りやすくなるが、井本さんと同じコースで登るのは厳しかった。ヌンチャク回収ができずさっそくA0で引き上げてもらいなんとか登れた。サングラス&ザックを背負ってのクライミングはやっぱりいつもと感覚が違って登りにくい。



☆1P 目終了点にて☆



岩がもろかったり、支点が少なく、ハーケンだったり、高度感があつて本チャンのゲレンデという感じだった。開放感があつてとても気持ちのよいルート。次にくる時はつるべで登れるようになっていたい。たくさんロープを引き上げてくださった井本さん、ありがとうございました。





☆天狗の踊り場にて記念撮影。楽しかった～☆

スタート時はとても天気がよかったのに、天狗の踊り場ではあいにくの曇り空で、富士山も隠れてしまっていた。

それでも十分に景色がよく、新歓幹事の方々が作ってくださったおにぎりやゆで卵をいただき、14:30に三ッ峠頂上、15:20に駐車場着。

先に下山されていた天狗岩チームと合流し、帰葉した。

岩の計画をしてくださった樋口さん、三ッ峠マスターの富樫さん、長距離の運転をしてくださった方々、新歓幹事の方々、楽しい時間をありがとうございました！ケガのため、終日サングラスで大変失礼いたしました・・・

記録：山本

なお、2日目天狗岩の報告は、同じく新人の飯田さんをお願いいたしました。

二日目天狗岩初級アルパイン講習

【参加メンバー】 富樫（CL）、井上、石崎、大森、飯田（記録）

【内容】 二日目は経験者向けの屏風の岩コースと初心者向けの天狗岩の2班に分かれ、天狗岩班は富樫さんをリーダーに井上さん、石崎さん、1日参加の大森さんプラス飯田の5名が参加した。

天狗岩は富士山に向かって突き出した展望台のようで、眺めるには絶好の場所だが、足元にはアンカーボルトやハーケンが多数打ち込まれており、クライミングの練習にも良い環境のようだ。

午前はアルパインクライミングの初級編からスタート。ハーネスを着け準備した後岩の取り付け部に移動。ロープワークとセルフビレイの説明をした後、トップがヌンチャクを掛けながらスルスルと登り、セカンドの我々が続く。岩の取り付け部から上を眺めると垂直で、15m～20m位はありそうだ。

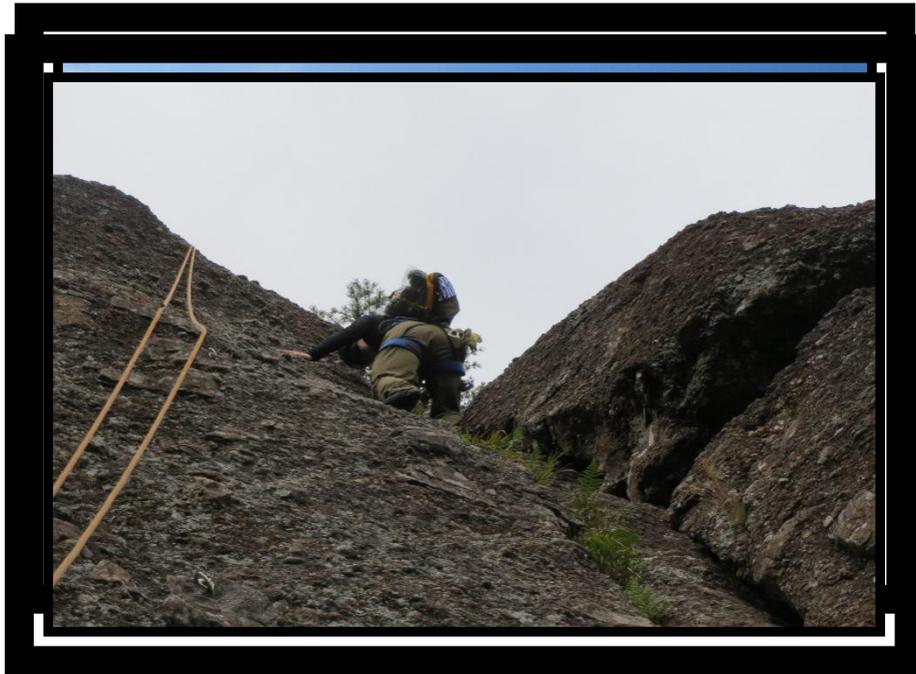
昨日の十二ヶ岳の岩場に比べると高度感はあるが、ホールドし易くアプローチシューズでも十分登れる。全員が登頂すると次は懸垂下降の練習だ。他の人は岩に立つような感じで糸を引くように簡単に降りているが、自分ときたら足のスタンスもロープの持ち方も悪いのか、右に左に振られ、降りるのも何だかぎこちない。まだまだ練習が足りませんな。この岩登りと懸垂下降を何度繰り返して午前は終了。

お昼は富士山を眺めながらお手製のサンドイッチに作っていただいたおにぎりとおゆで卵&富樫農園のブドウで腹ごしらえし、眺めを堪能した後は午後の練習再開。

午後も岩登りと懸垂下降を繰り返すが、セカンドビレイの説明と演習、複数でビレイをしながら登ってみるなど遊びを交えて飽きさせない。最後は場所を替えて下降と登りを練習して午後3時に終了となった。

下山中リーダーからクライミングの事故の話を聞き、楽しいばかりが

クライミングではないことを知ることになり大変勉強になった1日であった。





屏風岩を撮るのを忘れてました！

